

## エコアクション 21

# 環境経営レポート



対象期間 : 令和2年10月1日～令和3年9月30日

作成 : 令和4年1月20日



北日本建機工業株式会社  
代表取締役 大橋 康弘

# 目 次

1. 環境経営方針・行動指針	-----	2
2. 事業内容概要	-----	3～5
(1) 事業者名及び代表者名		
(2) 所在地		
(3) 環境管理責任者名及び連絡先		
(4) 事業内容		
(5) 事業規模		
(6) 認証登録範囲		
(7) 実施体制	① 組織	
	② 役割、責任、権限	
3. 環境経営係数実績	-----	6
4. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無		
5. 環境目標設定書	-----	7
6. 環境活動計画及び実績表	-----	8～9
(1) 電力の削減		
(2) 自動車燃料の削減		
(3) 産業廃棄物の削減		
(4) 水道水の削減		
(5) 顧客満足度・製品への環境配慮		
(6) 地域貢献活動		
7. 環境責任者の環境経営計画実施報告	-----	10
8. 代表者による評価・見直し指示書		
9. 活動状況（写真）	-----	11～12

## 1. 環境経営方針

### 環 境 理 念

現下の地球環境の状態を考え、これからの子供達への将来に考えが及ぶとき、地球温暖化への対策と循環型社会への取り組みは我々の重要なテーマである。

この認識に立ち、私たち北日本建機工業株式会社は自動車および産業機械の整備・架装・钣金・塗装・販売等の事業活動において、お客様の満足に応えるべく確かな技術と信頼をモットーに安心・安全なビジネスサポートを常に従業員一同心掛け、自主的且つ積極的に環境保全活動に取り組み社会に貢献します。

### 行 動 指 針

北日本建機工業株式会社は、下記の行動指針を定め、循環型社会に適合する事業活動を実施します。

- 1 地球温暖化防止のため二酸化炭素の削減に取り組みます。
  - ① 自社での電力・燃料の消費に伴うエネルギーの効率的利用及び節約に努めます。
  - ② 製品サービスとして「環境配慮製品拡販の推進」を行います。
- 2 循環型社会の形成に向けて廃棄物排出量の削減に取り組みます。
  - ① 自動車等産業機械の整備業務に伴う産業廃棄物について分別回収による資源の有効活用に努めます。
  - ② 自動車リサイクル法に伴い適切なりサイクルに努めます。
- 3 水資源確保のため節水及び適正排出に努めます。
- 4 化学物質使用量の把握、管理を適切に行うと共に削減に取り組みます。
- 5 顧客満足度を上げるために、技術の向上・生産性の向上・人材教育等に取り組みます。
- 6 当社に関わる環境関連法規やその他要求事項を遵守します。
- 7 環境への取り組みを環境活動レポートとして取りまとめ公表します。

これらについて、環境経営目標・活動経営計画を定め、定期的に見直しを行い継続的改善に努めます。

制定 平成21年 4月1日

改定 令和 2年12月1日 (第6版)

北日本建機工業 株式会社  
代表取締役社長 大橋 康弘

## 2. 事業の概要

- (1) 事業者名及び代表者名  
北日本建機工業株式会社  
代表取締役会長 大橋 義光  
代表取締役社長 大橋 康弘
- (2) 所在地 本社工場 岩手県盛岡市手代森5-19-8 (都南工業団地内)  
電話 019(696)2400 FAX 019(696)2677
- 川目工場 岩手県盛岡市川目町23-13 (盛岡中央工業団地内)  
電話 019(601)4545 FAX 019(601)4546
- 展示場 岩手県盛岡市手代森5-11-42
- 秋田営業所 秋田県秋田市川尻大川町2-3  
(ユニック北東北販売(株)秋田営業所内)

### (3) 環境管理責任者名及び連絡先

責任者：高橋 利之 (総務部長)

連絡先：電話019(696)2400 FAX 019(696)2677

E-mail : kanri@kitakenki.co.jp

### (4) 事業内容

塵芥車  
販売・整備・点検



ユニッククレーン  
架装・整備・点検



富士重工ハウス  
・販売



自動車整備  
建設機器車両  
(鈑金・塗装・  
点検・車検)



(5) 事業規模

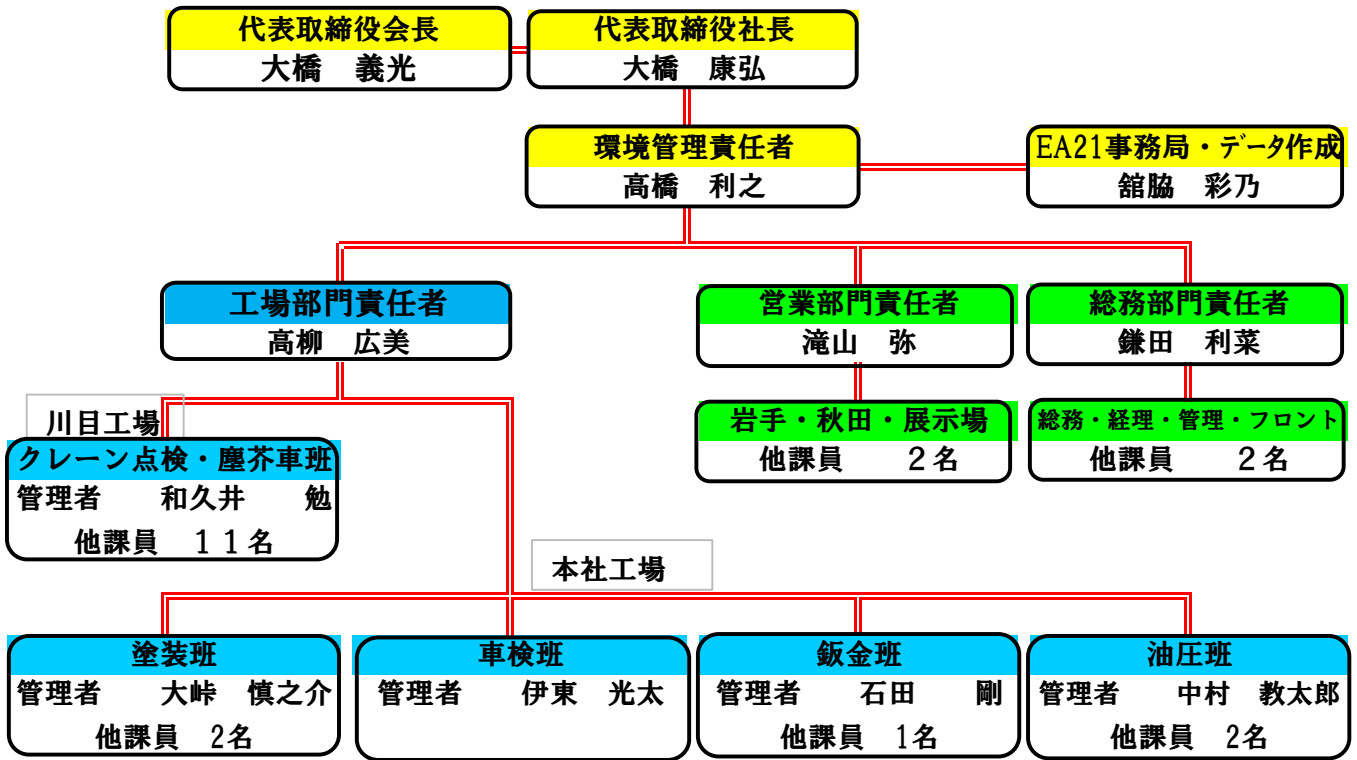
規模	単位	令和1年度	令和2年度	令和3年度
売上高	百万円	675	618	749
従業員	人	30	30	32
延べ床面積	m <sup>2</sup>	5,818.70	5,818.70	5,818.70

(6) 認証登録範囲

- ・本社事務所、工場
- ・川目工場
- ・展示場
- ・秋田営業所
- \*全サイト・全事業活動・全従業員

(7) 実施体制

① 組織



合計 32名

② 役割と責任・権限

役割	担当	責任・権限
代表者	大橋 康弘	①環境方針の策定 ②効果的な実施体制を構築する。 ③経営における「課題とチャンス」の整理と明確化。 ④環境管理責任者からの報告を受け評価の上全体の見直しを行う。 ⑤取り組みに対する資源（人員・設備・費用等）を用意する。
環境管理責任者	高橋 利之	①代表者に代わって環境経営システム全体の構築、運用する。 ②代表者に結果を報告する。
部門責任者	高柳 広美 鎌田 利菜 滝山 弥	部門内に置いて、 ①省資源、省エネ、節水を奨励・実施する。 ②EA21目標達成の取り組みを推進・チェックし、環境管理責任者の了承の下、必要な是正処置・改善を行う。 ③公害防止、緊急事態への予防処置を行う。
班管理者	和久井 勉 中村 教太郎 伊東 光太 石田 剛 大峠 慎之介	①工場部門責任者の補佐役として活動する。
コミュニケーション窓口	高橋 利之	①地域住民、関連機関からの苦情等の窓口業務を行う。 ②苦情への対策・予防処置策定を行い、代表者の承認を受け関係者に実施を指示し、経過・結果への報告を受け改善・定着を図る。
事務局	館脇 彩乃	①環境管理責任者の補佐。 ②データ作成と実施内容を記録する。
社員	全員	①部門管理者の下、省資源、省エネ、節水に努める。 ②EA21取り組みに関する教育訓練を受ける。

### 3. 環境経営目標実績

(1) 平成30年10月～令和3年9月 4年間実績

項目	単位	平成30年度 (実績値)	令和1年度 (実績値)	令和2年度 (実績値)	令和3年度 (実績値)	評価
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	153,344	164,704	185,327	184,596	×
電気使用量	Kwh	137,422	149,535	163,997	168,304	×
燃料使用量 (ガス)	m <sup>3</sup>	4,711	4,606	2,975	7,513	×
燃料使用量 (灯油)	ℓ	5,529	5,253	5,691	4,314	○
燃料使用量 (ガソリン)	ℓ	17,877	17,045	15,430	14,779	○
燃料使用量 (軽油)	ℓ	3,439	2,158	2,278	4,314	×
化学物質の管理	t	0.55	1.36	0.31	1.21	×
紙使用量	枚	61,597	68,177	79,092	80,772	×
水使用量	m <sup>3</sup>	228	256	291	381	×
廃棄物等総排出量	t	28.1	29.2	24.5	16.1	○

\* 評価：○ 対前年比改善 × 対前年比悪化

- ・ 紙使用量はコピー機のカウントを参考としています。
- ・ 購入電力の二酸化炭素排出係数は、R3.9.11公表で示された調整後排出係数を使用。

(岩手電力→0.678kg-CO<sub>2</sub>/kwh、東北電力0.528kg-CO<sub>2</sub>/kwh)

### 4. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規への遵守状況は、チェックリストで確認し、その結果は下表のとおりで法律違反訴訟、環境に関する苦情はありませんでした。

内容	結果
法律違反の有無	無
訴訟の有無	無
環境に関する苦情の有無	無

### 3. 環境目標設定書

毎年、代表者による見直しを踏まえて目標値及び達成手段を見直す。

作成日： R3.1.29

更新日： R3.1.29

負荷の自己チェック コア指標	環境方針 (キーワード)	環境目標項目 (負荷の自己チェックを踏まえて策定)	責任部門 責任者	基準値 (令和2年度)	年度毎目標・達成手段 (取組の自己チェックを踏まえて策定)				
					令和3年度	令和4年度	令和5年度	達成手段	
二酸化炭素排出量	二酸化炭素排出量の削減	電力の削減	総務 高橋 利之	163,997 kwh	基準年度比	99.4%	94.5%	92.7%	・二酸化炭素削減のため、電力を効率的に運用し節約に努めます。 ・LED照明を採用します。
				目標値	163,000	155,000	152,000		
				経営計画					
		ガソリンの削減	総務 高橋 利之	ガソリン (ℓ)	基準年度比	103.7%	100.5%	97.2%	・燃費向上に努める ・燃費の良い車に更新
				15,430	目標値	16,000	15,500	15,000	
				軽油 (ℓ)	基準年度比	87.8%	87.8%	87.8%	
		2,278	目標値	2,000	2,000	2,000			
		計経画営							
		LPGの削減	マネージャー 大峠 慎之介	6,158 kg	基準年度比	154.3%	154.3%	154.3%	・塗装ブースを効率よく活用する。
目標値	9,500			9,500	9,500				
経営計画									
廃棄物排出量	廃棄物の削減	産業廃棄物の総排出量削減・再資源化の推進	本社 中村 教太郎 川目工場 和久井 勉	6,905 kg	基準年度比	86.9%	82.5%	79.7%	・再資源化100%維持
				目標値	6,000	5,700	5,500		
経営計画									
化学物質使用量	化学物質管理	化学物質管理の適正化	本社 大峠 慎之介 川目工場 館澤 友広	309 kg	基準年度比	258.9%	258.9%	258.9%	・使用量の把握と管理を適切に行うことにより、適正化を図ります。
				目標値	800	800	800		
経営計画									
水使用量	水道水の削減	水使用量削減	本社 伊東 光太 川目工場 館澤 友広	291 m <sup>3</sup>	基準年度比	99.7%	96.2%	92.8%	・洗車時の節水に努める。 ・事務所での節水に努める。
				目標値	290	280	270		
経営計画									
製品サービス	顧客満足度	・サービスの拡充 ・生産性の向上 ・資質向上教育	高柳 広美	左の項目により検討	経営計画	定期点検記録簿を作成し、案内状発送等サービス向上を図る。 ・1時間当たりの売上単価を管理し、生産性を上げる ・教育訓練計画書を作成し、資格取得及び技術力向上を図る。	定期点検記録簿を作成し、案内状発送等サービス向上を図る。 ・2時間当たりの売上単価を管理し、生産性を上げる ・教育訓練計画書を作成し、資格取得及び技術力向上を図る。	定期点検記録簿を作成し、案内状発送等サービス向上を図る。 ・3時間当たりの売上単価を管理し、生産性を上げる ・教育訓練計画書を作成し、資格取得及び技術力向上を図る。	
製品への環境配慮	製品への環境配慮	低燃費・低騒音商品の拡販(エコ製品)	滝山 弥	塵芥車販売実績なし	基準年度比				
					目標値	2台	2台	2台	
経営計画									
社会貢献	-	地域貢献活動	高橋 利之	2回以上	経営計画	・都南工業団地清掃活動に参加 ・地域交通安全パトロール活動に参加 ・盛岡中央工業団地清掃活動に参加	・都南工業団地清掃活動に参加 ・地域交通安全パトロール活動に参加 ・盛岡中央工業団地清掃活動に参加	・都南工業団地清掃活動に参加 ・地域交通安全パトロール活動に参加 ・盛岡中央工業団地清掃活動に参加	



### 4. 令和3年度 環境活動計画及び実績表

方針	目標 (方針に掲げた取組項目は必ず挙げる) (負荷の自己チェックで目標設定した)	目標達成手段	責任部門	スケジュール													
				10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
二酸化炭素排出量削減	<b>電力の削減</b> 基準年度実績 令和2年 163,997 kWh  令和3年度目標 163,000 kWh  令和4年度目標 155,000 kWh  令和5年度目標 152,000 kWh	省エネ目標説明	本社目標(月別) kWh	6,600	15,300	13,200	12,600	13,000	12,100	10,500	7,700	7,600	8,400	8,600	9,029		
		不要照明の消灯	本社実績(月別) kWh	9,731	11,934	14,679	14,317	15,163	11,811	9,070	7,445	7,128	8,011	8,289	7,086		
		パソコンは、退社時コンセントを抜く	川目工場目標(月別) kWh	1,800	2,300	3,484	4,000	4,800	4,000	3,900	2,832	2,600	2,500	2,500	2,500		
		冷房28℃ 暖房24℃	川目工場実績(月別) kWh	2,664	3,666	5,434	5,691	5,194	3,508	2,686	2,366	2,666	3,174	2,855	2,498		
		間引き照明の実施	展示場目標(月別) kWh	100	100	110	110	100	95	95	90	85	85	85	85		
		工程ロス削減による稼働時間短縮	展示場実績(月別) kWh	109	106	112	132	108	109	107	104	89	88	87	87		
		空調機フィルターの定期清掃	目標累計	8,500	26,200	42,994	59,704	77,604	93,804	108,299	118,926	129,216	140,201	151,386	163,000		
		ブラインド等により熱の調整を行っている	実績累計	12,504	28,210	48,435	68,575	89,404	104,468	116,331	126,246	136,129	147,402	158,633	168,304		
		LED照明を採用する	評価	×	△	×	×	×	△	△	○	○	×	×	○		
		1月	達成状況/是正策	厳冬による気温低下により暖房の電気量増加。塗装ブースの電気量も増加となった。	評価/指示	塗装ブースは止むを得ず。節電に努めるよう社員に改めて周知されたし。											
		5月		単月での目標比はクリア出来たが、累計比では目標大幅超過となっている。岩手県のLED助成金申請を行うこととした。		使用してない箇所の消灯を徹底の事。											
		9月		工場内稼働状況による波はあるが、通期での目標には届かなかった。		日中の節電とエアコンの使用頻度を工夫する。省エネ温度の設定を確認の事。											
		総括		業務上の繁忙期や車両の入庫状況によって使用電力が振れる。川目工場内の水銀灯をLED照明へ変更する。		照明のLED化で効果が大きくなると思料。作業の効率化を図ること。											
		二酸化炭素排出量削減	<b>自動車燃料の削減</b> 基準年度実績 令和2年 ガソリン 15,430 l 軽油 2,278 l  令和3年度目標 ガソリン 16,000 l 軽油 2,000 l  令和4年度目標 ガソリン 15,500 l 軽油 2,000 l  令和5年度目標 ガソリン 15,000 l 軽油 2,000 l	目標達成手段	責任者 高橋 利之	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
				自動車燃費向上目標の説明	ガソリン目標(月別)	0	1,300	1,400	1,500	1,400	1,100	1,800	1,400	1,300	1,600	1,200	900
アイドリングストップ	ガソリン実績(月別)			0	1,434	1,454	1,448	1,315	1,273	1,401	1,214	909	1,196	1,319	885	930	
急加速・急停車の防止	ガソリン目標(累計)			0	1,300	2,700	4,200	5,600	6,700	8,500	9,900	11,200	12,800	14,000	14,900	16,000	
冷暖房の控え目使用	ガソリン実績(累計)			0	1,434	2,888	4,336	5,651	6,924	8,325	9,539	10,448	11,644	12,963	13,848	14,778	
運転日誌を作成し、行動効率化を図る	評価			×	×	△	△	×	○	○	○	○	×	○	○		
燃費を管理し、燃料効率化を図る	軽油 目標(月別)			0	180	200	200	150	150	180	120	140	180	150	150	200	
燃費のよい車の購入(更新時)	軽油 実績(月別)			0	253	371	630	250	421	401	401	191	341	427	277	350	
	軽油 目標(累計)			0	180	380	580	730	880	1,060	1,180	1,320	1,500	1,650	1,800	2,000	
	軽油 実績(累計)			0	253	624	1,254	1,504	1,925	2,326	2,727	2,918	3,259	3,686	3,963	4,313	
	評価			×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
1月	達成状況/是正策			出張点検用車両増車(軽油使用車)のため使用量増加。ガソリン車の目標を確認する。	評価/指示	アイドリングストップは意識されているようなので、継続を指導する。エコドライブ研修実施の事。											
5月				ガソリン車の目標推移はおおむね良好。		安全運転を基調として事故もなく運営されている。											
9月				エコドライブ研修を行い、安全運転の意識を高めた。		燃料価格の上昇が続いており、消費量も含めて効率化を行うように。											
総括				総じてガソリン車の燃料消費は抑えることが出来たが、ディーゼル車の軽油使用は抑えられなかった。目標の設定を見直す。													
産業廃棄物排出量削減	<b>産業廃棄物の削減</b> 基準年度実績 令和2年 6,905 kg  令和3年度目標 6,000 kg  令和4年度目標 5,700 kg  令和5年度目標 5,500 kg	目標達成手段	責任者 本社 中村教太郎 ・川目 和久井 勉	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
		廃棄物の分別を徹底する	総排出量目標(月別) kg	500	400	500	500	400	800	300	300	500	500	400	900		
		回収ボックスの適正配置により分別	総排出量実績(月別) kg	220	0	701	240	915	0	635	1,470	0	730	400	600		
		3S(整理・整頓・清掃)活動の実施	総排出量目標(累計) kg	500	900	1,400	1,900	2,300	3,100	3,400	3,700	4,200	4,700	5,100	6,000		
		加工ミスによるロスの低減に努める	総排出量実績(累計) kg	220	220	921	1,161	2,076	2,076	2,711	4,181	4,181	4,911	5,311	5,911		
		廃棄物を見える化している(データ化)	再資源化率目標 %	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	
		適切なリサイクル業者を選定する	再資源化率実績 %	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	
			評価	○	○	×	×	×	○	×	×	○	×	△	○		
		1月	達成状況/是正策	廃棄物の分別を確実にを行う。加工ミスによるロスを減らすように努める。	評価/指示	資材利用の効率化に努めること。											
		5月		切断材処分の増加による。		リサイクル処理の効率化を進めるように。											
		9月		木くず処理の増加による。		効率化検討の事。											
		総括		極力産業廃棄物の排出削減に努めているが、業務量の増加に左右されるため、自助努力には限界がある。		予定数量内に取まったことは評価できる。分別とリサイクルを徹底して排出削減に努めること。											

		責任者 本社 伊東光太 ・ 川目 館澤友広	11~12月	1~2月	3~4月	5~6月	7月~8月	9~10月									
節水	<b>水道水の削減</b>																
	基準年度実績 令和2年 291 m		節水呼びかけ 当社目標 (月別)	m	21	31	36	26	28	30							
			蛇口に節水の表示をする 当社実績 (月別)	m	30	39	39	25	24	19							
			バルブの調整により水量を調整す 川目工場目標 (月別)	m	20	20	18	20	20	20							
	令和3年度目標 290 m		ホースに手元バルブを取付節水す 川目工場実績 (月別)	m	22	24	34	32	63	30							
	令和4年度目標 280 m		車洗車時の節水励行 目標累計	m	41	92	146	192	240	290							
	令和5年度目標 270 m		手洗い、洗い物時の節水励行 実績累計	m	52	115	188	245	332	381							
					×	×	×	×	×	×							
					×	×	×	×	×	×							
			1月 達成状況 / 是正策 本社、川目工場とも目標比オーバー。洗車時の節水に努める。	評価 / 指示	洗車台数増加に起因。節水を心掛けること。												
		5月 達成状況 / 是正策 本社、川目工場とも目標比オーバー。洗車時の節水に努める。	洗車台数増加に起因。節水を心掛けること。														
		9月 達成状況 / 是正策 本社、川目工場とも目標比オーバー。洗車時の節水に努める。高圧洗車機更新。	洗車台数増加に起因。節水を心掛けること。高圧洗車機更新による節水を試みる。														
		総括 本社、川目工場とも目標比オーバー。洗車時の節水に努める。	業務量の増加によるものだが、節水をする事の重要性を考えるように。														
製品サービス	<b>顧客満足度</b>		目標達成手段	責任者 高柳広美 ・ 滝山 渉	10月	1月	2月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
			サービスの拡充	・ 定期点検記録簿を作成し、案内状発送等サービス向上を図る。													
			生産性の向上	・ 1時間当たりの売上単価を管理し、生産性を上げる。													
			資質向上教育	・ 教育訓練計画書を作成し、資格取得及び技術力向上を図る。													
			低燃費・低騒音商品の拡販 (エコ製品)	・ 営業活動に於いては、エコ製品の説明を必ず行う。 サービス職もフォローする様にする。													
					△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
			1月 達成状況 / 是正策 ・ 点検記録簿、生産性管理表は作成し活用している。 ・ 塵芥車についてはエコ製品の説明は行っていない。(価格の問題)	評価 / 指示	・ エコ製品については、説明方法について検討する												
			5月 達成状況 / 是正策 塵芥車点検時における整備状況が、環境にリンクするユーザーへの説明を分かりやすく行う。		塵芥車点検時における整備状況が、環境にリンクするユーザーへの説明を分かりやすく行う。												
			9月 達成状況 / 是正策 エコ製品の説明と理解をユーザー、ディーラーへ働きかける。		エコ製品の説明と理解をユーザー、ディーラーへ働きかける。												
			総括 エコ製品の説明と理解をユーザー、ディーラーへ働きかける。品質・サービスの向上を図る。		担当者の個人スキルに依存することなく、社内で改善点を協議し、顧客からの支持を得る努力を図りましょう。												
社会貢献	<b>地域貢献活動</b>		目標達成手段	責任者 高橋 利之	10月	1月	2月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
			地域貢献活動	・ 都南工業団地清掃活動に参加。 ・ 地域交通安全パトロール活動に参加。 ・ 盛岡中央工業団地清掃活動に参加。													
					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			1月 達成状況 / 是正策 ・ 地域活動には積極的に参加している	評価 / 指示	・ 引き続き積極的に参加すること。												
			5月 達成状況 / 是正策 5月7日川目工場、5月8日本社工場除草剤散布。6月盛岡中央工業団地、7月都南工業団地清掃活動を予定。		・ 引き続き積極的に参加すること。												
			9月 達成状況 / 是正策 8月~10月以降の清掃活動を計画実施予定。		・ 引き続き積極的に参加すること。												
			総括 本社工場、川目工場とも計画通り実施。12月地域内パトロール実施予定。		・ 引き続き積極的に参加すること。												
	年間活動計画		環境教育	環境方針・目標・活動計画の周知	10月	1月	2月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
			緊急事態対応訓練	火災対応訓練・AED取扱い訓練	○						○						
			環境関連法規等の順守評価		○									○臨時			
		代表者による全体の評価と見直し		○						○臨時							
		環境活動レポート	作成と地域事務局への送付			○											

\* 評価 : 月次、累計とも達成 ○ / 月次または累計が達成 △ / 月次、累計とも未達成 ×

## 5. 環境管理責任者の環境経営計画実施報告

評価項目	内 容	備考
①環境関連法の遵守状況	概ね環境関連法に基づく行動が出来ていたが、改善の余地はあると史料。	
②環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況、その評価結果	年々二酸化炭素排出に対する規制や排出を削減する動きが高まってきている。 環境経営を行う素地は十分保有しているため、年間の実績を勘案しながら計画の見直しを行っていききたい。	
③問題点の是正処置及び予防処置の結果	川目工場の設備更新や本社工場の節電などによって改善を図っていききたい。 当面、水銀灯照明を廃止してLED化を行うこととした。	
④外部からの苦情等の受付結果	苦情はありません。	
⑤組織に影響する法規制動向	該当ありません。	
⑥その他		

上記のとおり報告します。令和4年1月20日

環境管理責任者 高橋利之

## 6. 代表者による評価・見直し指示書

見直し項目	評価	見直し指示
①環境方針	全体的には環境に配慮した運営はされているが、改善余地はある。	環境に配慮した経営とCSの向上に務めること。
②環境経営目標	川目工場の稼働率上昇によるエネルギー消費量増加が懸念される。	電力消費量削減のため、工場内のLED化を進める。
③実施体制	部門ごとの責任者において工程をスムーズに行うため、予定の連絡を定期的に行う。	各担当セクションにおいて、生産性の向上のためエネルギー消費量削減を図る。
④環境経営計画及び環境経営システム	その他については、見直しを行わず、引き続き実行する。	「これ以上は」といった意識を持たず、改善の余地を探ること。
⑤その他	労災事故に対する安全対策	高所での作業時の安全対策を行うこと。
⑥全体評価	EA21の運用に対する意識は浸透している。 工場の稼働状況によってエネルギー消費量が左右されるが、環境に配慮した運営がされている。安全と生産性を考慮した運営を徹底いたします。	

上記のとおり指示します。令和4年1月21日

代表者 大橋康弘

- ※1、見直しは、少なくとも毎年1回実施し、その結果を記録すること
- ※2、環境管理責任者は、評価項目を記入し、代表者に提出する。
- ※3、代表者は、見直し等を指示するとともに所要事項を記載する。



工場内整備状況



事務所内清掃



社内勉強会



駐車場内アイドリング  
ストップ掲示





本 社

＜消火実施訓練＞



川目工場



本社玄関

＜美化活動＞



川目工場  
お客様待合室



本 社

＜社会貢献＞



川目工場

(2) その他の取り組み

- ・地域環境活動への参加

